

第一期中期目標期間

公立大学法人首都大学東京  
業務実績評価

項目別評価（素案）

## II 項目別評価

### ①業務実績の検証

項目別評価を実施するにあたって、法人から提出された業務実績報告書等を基に検証を行った。  
検証にあたっては、中期計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果等について、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。  
検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

### ②業務実績の評価

業務実績報告書の各項目の検証及び特記事項等を基に、事業の進捗状況・成果を大項目ごとに1～4の4段階で評価した。

評 定	1… 中期目標の達成状況が良好である。
	2… 中期目標の達成状況がおおむね良好である。
	3… 中期目標の達成状況がやや不十分である。
	4… 中期目標の達成状況が不十分であり、法人の組織、業務等に見直しが必要である。

中期目標の項目ごとの評定及び特記事項は、以下のとおりである。

## II 首都大学東京に関する目標 1 教育に関する目標

### 【入学者選抜】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【教育課程・教育方法 ～学部教育における取組み～】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【教育課程・教育方法 ～大学院教育における取組み～】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【教育の質の評価・改善】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【学修に関する支援】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【学生生活支援】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【就職支援】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【留学支援】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【外国人留学生支援】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【適応相談】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【支援の検証】

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

#### (優れた点)

- 中期計画「学部の入学者選抜」について、アドミッションポリシーを策定し、これを明示するとともに多様な入学者選抜に係る地域要件の拡大を図るなど、意欲のある学生を確保する体制の整備を進めたことは優れていると判断される。
- 中期計画「入試広報」について、教職員が一体となって取り組んでおり、大学説明会の来場者数も着実に増加し、平成20年度には17年度に対し6割を超える増加を記録したことは優れていると判断される。
- 中期計画「高専との連携」について、2大学1高専の連携を強化するため、高専から学部及び大学院へ学生を受け入れる仕組みを整備するとともに、新たに法人内に大学・高専連携会議を設置し、教育、研究、社会貢献における具体的な連携策について検討を行ったことは優れていると判断される。
- 中期計画「大学の基本理念を実現するための取組み」について、基礎ゼミナール、都市教養プログラム、実践的英語教育、課題解決型情報教育および現場体験型インターンシップといった教育プログラムを導入し、定着を図っていることは優れていると判断される。
- 中期計画「研究科の再編」について、平成18年度から「大学院の充実」に関する全学方針を定め、これに基づいた研究科・専攻・系・専修ごとの育成する人間像や、それに基づく教育内容・方法及び実施計画、専門科目の構成・点検について具体的内容を定めた上で教育を実施するとともに、平成19年度に3件、平成21年度に1件の取組が大学院GPで採択されたことは優れていると判断される。
- 中期計画「高度専門職業人の養成」について、法科大学院、ビジネススクールの運営は順調に推移しており、人間健康科学研究科では新しい専門職業人教育の4コースを新設し、文部科学省のがんプロフェッショナル養成プランに採択されるなど、それらの取組は優れていると判断される。
- 中期計画「学生生活支援」について、授業料減免を行う成績優秀者表彰制度や優秀学生卒業表彰制度を創設するとともに、寄附金や剰余金の運用益相当額を原資として大学院博士後期課程学生を支援する独自の奨学金制度を創設したことは優れていると判断される。
- 中期計画「就職支援」について、就職課の設置や就職カウンセラーの配置など就職支援体制を整備し、きめ細やかな就職支援を行い、進路把握率99.9%の達成、卒業後3年を経過する卒業生へのアンケート調査、外国人留学生に対する就職ガイダンスの実施などの成果は優れていると判断される。

### (特色ある点)

- 中期計画「大学院における社会人のリカレント教育」について、社会人のリカレント教育ニーズに応えるために、社会科学部研究科経営学専攻、理工学研究科、都市環境科学研究科地理環境科学専攻及び同都市システム科学専攻、人間健康科学研究科において、平日夜間や土曜日に一部の授業を開講し、研究指導を行ったことは、特色ある取組であると判断される。

### (改善を要する点)

- 中期計画「大学院の入学選抜」について、中期期間を通じ、一部の研究科で定員充足率がかなり低い状況が続き、最終年度においても改善がみられない。早急な改善が望まれる。
- 中期計画「大学の基本理念を実現するための取組み」について、単位バンクシステムに関しては、利用学生数が伸び悩んでいる。今後、開学後の高等教育の環境や制度の著しい変化を踏まえ、単位バンクという思想を十分に活かした新たな取組を検討することが望まれる。
- 中期計画「留学支援」について、様々な措置を講じているものの、留学する学生数が十分な水準にあるとは言い難い。支援策の充実のみならず、留学に挑戦する気持ちを喚起する教育的取組を含めて、総合的な検討が望まれる。
- 中期計画「外国人留学生支援」について、種々の支援策が実施されているが、留学生の人数についても十分な水準にあるとは言い難い。公立におけるリーディング大学としての明確なポリシーの設定と支援策の充実、さらには日本語遠隔教育システム等も含めた総合的な検討が望まれる。また、3キャンパスの留学生が同質の生活支援を受けられるように、一層の支援体制の整備が望まれる。
- 中期計画「支援の検証」について、学生のキャンパスライフの充実整備が、ますます重要になっており、いかに学生が快適なキャンパスライフの場を持ち、キャンパスで自主的・自発的な活動を展開できるようにするのか、学生数の増加を踏まえ、図書館や学生ホール、食堂などのキャンパスアメニティの総点検をすることが望まれる。

### (その他)

- 中期計画「学部への入学選抜」について、選抜の多様化が学力の低下を招いていないか、常にフォローアップと入学後の教育課程面での対応に期待する。
- 中期計画「分散型キャンパスへの対応」及び「教育実施体制の整備」については、授業のオンデマンド化を含めてICTの活用は授業の公開性を高め、FD/授業評価の改善にもつながることから、積極的な推進を期待する。
- 中期計画「研究科の再編」に関連して、大学院においては、各専攻で育成する人材像や課程修了までのプロセスを明確にしつつ、体系的な知識の修得と専門分野の訓練や技術の修得とのバランスのとれた教育課程を編成する必要があり、積極的な検討を期待する。
- 中期計画「高度職業人の養成」について、ビジネススクールが経営学専攻の一部として設置・運営されているなど大学全体として研究者養成大学院と専門職大学院が専攻の形で混在しており、双方の目的や機能について整理・検証を行い、組織・教育課程の分離、改廃、統合等の再編を検討することを期待する。
- 中期計画「大学院における社会人のリカレント教育」について、「開放部」(エクステンション)のような統合的な組織の設置について検討するなど、大学全体としての組織的な対応に期待する。
- 中期計画「ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施」について、FDの根幹は、教員の教育への意識変革とカリキュラムであり、技術的な問題ではないことを再確認する必要がある。FDは基礎・教養教育において先行してきたが、専門教育の見直しを踏まえた基礎・教養教育の再検討、両者の関係の検討など、主要な実践の場は専門教育であるという認識を持つことを期待する。
- 中期計画「第三者評価の実施」について、認証評価機関の評価を受審した結果、大学評価基準を満たしているとの判定を受けたことはこれまでの努力が認められたことと評価できるが、「改善すべき点」の指摘を正しく受け止め、改善に取り組むことが望まれる。
- 中期計画「成績評価基準の作成」について、評価基準の標準化が進んではいるが、その後のGPAやキャップ制、進級・卒業にかかわる質の管理につながっていくことを期待する。

- 中期計画「学修に関する支援」については、制度としては整ったものの、利用度や満足度について常に学生の意見のフィードバックを行うことを期待する。図書館については、それを「ラーニング・commons」として、学生のキャンパスライフや学習活動の中核に据えようという新しい考え方の導入を含めた検討も期待する。

## 2 研究に関する目標

### (1) 研究の内容等に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

### (2) 研究実施体制等の整備に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

#### (優れた点)

- 中期計画「研究の方向性」について、大都市、とりわけアジアの大都市の課題に関する研究を大学の使命として積極的に進めている中で、特定の課題についての共同研究を支援する「研究環」制度を導入した。この制度は、研究ネットワークや研究拠点の形成を図ることにより、最先端の研究を重点的に支援し、外から見える研究を育てるうえで有効であることから優れていると判断される。
- 中期計画「海外の研究機関との連携」について、各部局の取組として「新しいアジアとの交流事業」等、アジア諸都市の大学と「大都市共通の課題」についての共同研究を実施するとともに、「アジア技術者育成事業」や「東京都アジア人材育成基金」による留学生の受入れなど、研究を通じた人材育成に関しても成果を上げていることは、優れていると判断される。
- 中期計画「研究環境の支援」について、学長直轄の「戦略研究センター」が設置され、学長のリーダーシップのもと重点的・戦略的研究及び外部資金活用研究など、重要な課題に対する最先端の研究を実施できるような組織体制が整備されたことは優れていると判断される。
- 中期計画「外部資金等の獲得」について、科学研究費補助金の獲得に関して全学の取組方針を定め、応募説明会等を行ったことにより申請件数が増加し、1人当たりの目標獲得金額を達成するなどした点は優れていると判断される。
- 中期計画「外部資金等の獲得」について、大型の資金を獲得できるよう、グループ研究や拠点形成型研究の促進の必要性から、外部資金の増加に伴うスペース確保のため「プロジェクト研究棟」を建設した点は優れていると判断される。

#### (その他)

- 中期計画「研究成果の社会への還元」について、大都市の課題に関する取組が大学の特色ある研究としてその成果を社会に対して十分アピールできるよう、どのような研究がどのような大都市の問題に関連し、その解決に資するものになっているのか、都民に対して見えやすくすることを期待する。

### 3 社会貢献に関する目標

#### (1) 産学公連携に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### (2) 都政との連携に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### (3) 都民への知の還元に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (優れた点)

- 中期計画「産学公連携の強力な推進」について、コーディネータ活動が有効に働き、技術相談や共同研究等が着実に増加した結果、目標としていた件数を大幅に超えており、これらの実績は優れていると判断される。
- 中期計画「都との連携事業の推進」について、東京都各局との連携を強化し、都政のシンクタンク機能を発揮するための分野横断型の総合的窓口として、「都市科学連携機構」を設置し活動を開始したことは、大都市課題の解決という本学の使命を達成するうえで優れていると判断される。
- 中期計画「都の試験研究機関や博物館・美術館などとの連携」について、オープンユニバーシティにおける連携講座や、試験研究機関等との共同研究を実施しており、これらの実績は優れていると判断される。
- 中期計画「生涯学習、継続学習のニーズへの対応（オープンユニバーシティ）」について、順次開講講座を増加させ、約300講座を開講していることは優れていると判断される。

##### (改善を要する点)

- 中期計画「生涯学習、継続学習のニーズへの対応（オープンユニバーシティ）」について、常にニーズの把握に努め、適切な開講数の設定のもと、収支に関しての自立的な運営を維持するとともに、高齢者や子どもへの対応など都民のための都民の大学として個性及び特色をどこに求めるのか、他大学との差別化の検討などが望まれる。

##### (その他)

- 中期計画「都との連携事業の推進」について、都政のシンクタンク機能として具体的に何をするのかを明らかにし、都の有する学術文化的なリソースを大学としていかに活用するのか、総合大学としての強みをどう活用するのかなど、さらなる検討を期待する。また、区市町村と連携を強化していくことも必要であり、一層の積極的な取組を期待する。

### Ⅲ 産業技術大学院大学に関する目標

#### 1 教育に関する目標

##### (1) 教育の内容等に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

##### (2) 教育実施体制等の整備に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

##### (3) 学生支援に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (優れた点)

- 中期目標「教育の内容等に関する取組み」について、IT活用の教育形態は、法人全体にとっても、範とするに足る取組であり、小規模・独立の専門職大学院の利点を生かして、教育の革新的な試みを展開していることは優れていると判断される。
- 中期計画「専門的知識を有する学生の確保」について、多様な入試方法を組み合わせて、意欲のある学生の確保に実績をあげている。特に、A I I T単位バンク制度を導入したことは、社会人のライフスタイルにあった学習機会の提供のみならず、専門的知識を有する学生の確保につながった。これらの取組は優れていると判断される。
- 中期計画「実践型教育の推進」について、改訂されたITスキル標準に対応するためのカリキュラムの見直しや、モデル履修コースの設定、PBL教育の実施など実践型教育に強力に取組んだことは優れていると判断される。
- 中期計画「最新技術の動向に対応する実務家教員の確保」について、寄附講座の新設は、企業との連携が深まり、開かれた大学として教育・研究面への貢献は大きく、優れていると判断される。
- 中期計画「学習環境の整備」について、すべての講義をビデオ収録して学生が自習できる講義支援システムを整備し、さらに修了後10年間はこれを無料で視聴できる制度を構築したことは優れていると判断される。

##### (特色ある点)

- 中期計画「継続的な教育の質の向上」について、平成18年度から運営諮問会議を設置し、産業界の意見を教育内容に積極的に反映させる仕組みを構築し、開学以来毎年度、教育の質の向上に向けた課題について諮問を行っていることは、特色ある取組であると判断される。
- 中期計画「東京都立産業技術高等専門学校との連携」について、産業技術大学院大学と東京都立産業技術高等専門学校の9年間一貫したものづくり教育体系が整備されたことは、特色ある取組であると判断される。

##### (改善を要する点)

- 創造技術専攻の志願者数が伸び悩む中、志願者における学部新卒者の割合が増加傾向にあるが、専門職大学院としての教育理念の達成に向け、問題点の検討が望まれる。

(その他)

- 中期目標「学生支援に関する取組み」について、一般社会に革新的な大学院の在り方をPRすることについて一層の努力が必要である。小規模・実験的であるが故の社会的な可視性の低さを克服するため、一人一人の学生・卒業生を最大のPR媒体と認識し、その進路や活動状況への十分な目配りと、教育面へのフィードバックすることを期待する。

## 2 研究に関する目標

(1) 研究の内容等に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

(2) 研究実施体制等の整備に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点)

- 中期計画「IT及び創造技術分野における研究の推進と付加価値の創造」について、工学系の専門職大学院として組織的に推進する研究をPBL教育の方法改善に関する研究に特化し、成果を上げている。特に、PBL教育に関する研究を中心に、ITおよび創造技術分野における研究を強力に推進し、日本e-Learning学会で優秀賞を受賞するなど着実に成果を上げていることは優れていると判断される。
- 中期目標「研究実施体制等の整備に関する取組み」について、運営諮問会議での議論や産業界と連携したFD活動等を通じ、産業界のニーズ、最新技術・経営動向を研究内容に反映させる取組を実施したほか、産学公連携センターを通じて外部とのネットワークと連携体制を構築したことは優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「産学公連携センター等との連携体制の構築」について、東京都産業労働局との連携事業「ものづくり経営人材育成講座」を実施するなど、産学公連携のための取組を着実に実施していることは、特色ある取組であると判断される。

(改善を要する点)

- 中期計画「IT及び創造技術分野における研究の推進と付加価値の創造」に関連して、大学の使命達成に適合した研究を組織的に推進していることは本学の特色であるが、一方で長期的に見ると、個人の自由な発想に基づく研究を通して豊かな学識を蓄えることが、前述の組織的研究の成果を上げる上でも基本的に重要である。個人の高水準な研究を奨励・支援し、その成果を大学の使命達成のためにどう組織化していくのか、バランスの取れた総合的な研究政策が望まれる。

(その他)

- 中期計画「IT及び創造技術分野における研究の推進と付加価値の創造」に関連して、PBL教育は、法人内を構成する他の理工系を中心とした教育単位の場合にも、革新的な教育方法として重要であり、それらを巻き込んだ研究活動の展開が期待される。他の研究の側面についても、同一法人内の組織として、相互の交流の促進とシナジー効果の強化を図る観点から、協力・共同化にさらに力を注ぐことを期待する。



### 3 社会貢献に関する目標

#### (1) 中小企業活性化に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### (2) 都民への知の還元に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (優れた点)

- 中期目標「中小企業活性化に関する取組み」について、平成18年度からオープンインスティテュートを開設し、専門的なトピックスに関する講座を実施している。また、一般都民やエンジニアが自由に議論・交流する場として、「AIITマンスリーフォーラム」を定期的を開催している。さらに、産業界のデザイン力を高めることを目的とした「AIIT産業デザイン研究所」の設置や、中小企業経営者を対象とした「ものづくり経営人材育成講座」、「AIIT技術経営交流会」のほか地域との連携事業を実施するなど、中小企業の活性化に多くの取組を行っている。これらは優れた取組みであると判断される。
- 中期目標「都民への知の還元に関する取組み」について、平成21年度、22年度の日経グローバル誌全国大学地域貢献度ランキングにおいて、大学院部門で2年連続で全国1位になったことは、地域貢献に対する中期目標期間を通じての多様な知の還元の取組みが実を結んだものであり、優れていると判断される。

##### (その他)

- 中期目標「都民への知の還元に関する取組み」について、首都大学東京との関係を整理するとともに、大学院の正規の教育課程と区分する観点から、エクステンションのような形で、講座等の開設に止まらない、より体系的・組織的な、人材の再教育・レベルアップのシステムを検討し工夫することを期待する。

#### IV 都立産業技術高等専門学校に関する目標

##### 1 教育に関する目標を達成するための措置

###### (1) 教育の内容等に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

###### (2) 教育実施体制等の整備に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

###### (3) 学生支援に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (優れた点)

- 中期計画「産業界と連携した実践教育」について、産学連携による「超小型人工衛星プロジェクト」を実施したことは大きな話題となり、在校生・卒業生・教職員をはじめとする関係者に大きな自信と誇りを与えたものであり、優れていると判断される。
- 中期計画「入学者選抜」について、本科の学力選抜において平成20年度から住所要件を緩和して、都外入学者枠を設定し入学者選抜を行い、枠を超える応募者があったことは、法人移管のメリットを生かした取組として優れていると判断される。

##### (特色ある点)

- 中期計画「9年間一貫ものづくり教育」について、産業技術大学院大学と東京都立産業技術高等専門学校の9年間一貫したものづくり教育体系の整備のため、専攻科に産業技術大学院大学に接続させるコースを設置したことは、特色ある取組である。
- 中期計画「産業界と連携した実践教育」について、インターンシップのための体制整備、実務家講師の招聘、起業家精神プログラムの実施など、産業界と連携した実践的教育を展開したことは、特色ある取組である。

##### (その他)

- 中期計画「9年間一貫ものづくり教育」について、本校の本科・専攻科と産業技術大学院大学との接続コースを設置することとし、カリキュラムを作成した。学生に接続コースの道を拓くことは重要である。ただ、人間性形成のうえで最も大切な少年期から青年期を類似した環境で過ごすことについて、経験の多様性の観点からも十分配慮したカリキュラムの実施に期待する。
- 中期計画「産業界と連携した実践教育」に関連して、起業家精神プログラムを実施する一方で、卒業生の中から、どれだけ起業家が輩出され、高専の教育についてどう考えているのか、彼らの経験はどのように役立てることができるのかについても、合わせて検討することを期待する。
- 中期計画「複線的教育システムの確立」に関連して、現在の2キャンパス体制のもとでの教育、学校運営の問題点の分析と対策を検討し、学生のデメリットがないような配慮に期待する。

## 2 研究に関する目標

### (1) 研究の内容等に関する目標

・ 評価 2 ・ 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (特色ある点)

- 中期計画「研究の内容等に関する取組み」について、「特定課題研究費」と「教育改善研究費」に分け、コンペティション方式により研究費を傾斜的に配分したことは、研究の戦略的推進の観点で特色ある取組であると判断される。

## 3 社会貢献に関する目標

### (1) 中小企業活性化に関する目標

・ 評価 2 ・ 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### (2) 都民への知の還元に関する目標

・ 評価 2 ・ 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### (3) 東京の産業を担う人材育成に関する目標

・ 評価 2 ・ 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (優れた点)

- 中期計画「中小企業活性化に関する取組み」について、教育研究成果の情報提供、産学公連携センターとの連携・協力、高専が持つ機器の開放と技術指導などを通じ、地元中小企業の活性化に貢献していることは優れていると判断される。
- 中期計画「中小企業人材育成と若者の就業支援」について、経済産業省の平成18年度から3年間の委託事業として「若手技術者のための技術向上支援講座」を数多く実施し、3年間で延べ1,000人近くが受講するなど、中小企業人材育成に貢献していることは優れていると判断される。

##### (特色ある点)

- 中期計画「オープンカレッジ」について、独自のものづくり教育講座のほか、地域と連携した講座を開き、多数の参加者を得た。また、都主催の行事における科学教室などの実施、地元の公立小中学校への出前授業など、これらの多彩な事業は特色ある取組であると判断される。

##### (その他)

- 中期計画「中小企業人材育成と若者の就業支援」について、中小企業の人材養成を重要な目的に掲げるのなら、その従業員を対象にしたリカレント型・リフレッシュ型の教育プログラムを組む必要がある。また既卒を含めた工業高校卒業者に、さらに門戸を開いたり独自のプログラムを組むなど、高専の良さやリソースを生かした新しい教育プログラムの検討を行うことを期待する。

V 東京都立大学、東京都立科学技術大学、東京都立短期大学に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育の内容等に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

(2) 学生支援に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点)

- 引き続き適切な履修指導、きめ細やかな学生支援に取り組んだ。首都大学東京への転学措置を適切に行った上で、計画通り平成22年度末に閉学を行ったことは優れた取組であると判断する。

VI 東京都立工業高等専門学校及び東京都立航空工業高等専門学校に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育の内容等に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

(2) 学生支援に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点)

- 引き続き適切な履修指導、きめ細やかな学生支援に取り組んだ。産業技術高等専門学校への転学措置を適切に行った上で、計画通り平成22年度末に閉校を行ったことは優れた取組であると判断する。

## VII 法人運営の改善に関する目標

### 1 業務運営の改善に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

### 2 教育研究組織の見直しに関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 3 人事の適正化に関する目標

評定 1 中期目標の達成状況が良好である。

### 4 事務等の効率化に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況が良好である。

#### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

##### (優れた点)

- 中期計画「戦略的な法人運営制度の確立」について、経営企画室の設置による企画立案機能の強化、経営審議会・教育研究審議会における重点的な資源配分など、理事長、学長がリーダーシップを発揮して経営と運営に当たれる戦略的な体制を整備した点は優れていると判断される。
- 中期計画「戦略的な法人運営制度の確立」、「固有職員の人事給与制度の整備」に関連して、採用・研修・任用・人事考課・給与制度等を有機的に連携させつつ、スタッフ・ディベロップメントを体系化し、その実践的展開を図っていくために「人材育成プログラム」を策定したことは優れていると判断される。
- 中期計画「戦略的な法人運営制度の確立」に関連して、第二期中期計画の策定において、第一期中期計画の実施過程で明らかになった課題等を適切に反映させるとともに、都と法人と各校が十分な対話を行いながら策定作業を進めたことは優れた取組であると判断される。
- 中期計画「中長期的な視点からの人件費管理の実施」について、総人件費の抑制を前提に、教員設定数に基づく適切な現員管理の結果、第一期中期計画に定める設定数を実現した点は優れていると判断される。
- 中期計画「教員への任期制・年俸制の導入及び業績評価制度の適正な運用」については、任期制・年俸制・業績評価の3つの要素を主軸とする人事制度を導入し、適切に運用している点は優れていると判断される。
- 中期計画「固有職員等の活用」について、業務の見直しに取り組む中で、都派遣職員の縮減を計画的に進めるとともに固有職員の比重を高め、都派遣職員を上回る水準を実現するとともに、固有職員のための新たな人事給与制度を導入した。これらの点は優れていると判断される。
- 中期計画「効率的な執行体制に向けた定期的な事務組織の見直し」については、法人が所管する大学等の規模の拡大に対応して、事務組織全体の構成の見直しを行っていることは、優れていると判断される。

(特色ある点)

- 中期計画「戦略的な法人運営制度の確立」に関連して、次期中期計画を念頭に置いて、首都大学東京がこれから目指す方向と課題を整理した「首都大学東京の将来像」(中間報告ならびに最終報告)を策定したことは、特色ある取組であると判断される。

(その他)

- 中期計画「迅速な意思決定の仕組みの構築」に関連して、理事長及び学長の意思決定を補佐するために運営委員会が設置されたが、限られた人的・物的資源のもとで次々に新しい組織が設置される場合、十分に機能し活用しえず、逆にリーダーシップ発揮を阻害する恐れがある。理事長と学長が責任を持ってリーダーシップを発揮し、迅速な意思決定を行えるよう、副学長の役割分担を含め、全体像を常に見据えたスクラップ・アンド・ビルド型の運営組織・事務組織の整備が望まれる。なお、経営審議会・教育研究審議会と下部の運営委員会、法人と大学等との関係が複雑になりすぎて、権限や責任の所在があいまいにならないよう、また相互の十分なコミュニケーションが保障されるような配慮に期待する。
- 中期計画「監事による監査の実施」に関連して、監事監査、内部監査、外部監査が連携した体制のもと、効率的かつ充実した法人運営が図られることに期待する。

## VIII 財務運営の改善に関する目標

### 1 外部資金等の増加に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 2 授業料等学生納付金に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 3 オープンユニバーシティの事業収支に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 4 経費の抑制に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 5 資産の管理運用に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 6 剰余金の適切な活用による戦略的な事業展開に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

## 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

### (優れた点)

- 中期計画「全学的な外部資金等の獲得」について、コーディネータ活動の強化により目標額を上回って達成した。また、科学研究費補助金等、公的な競争的資金の獲得においても、全学的努力の結果、目標額を達成した。これらの成果は優れていると判断される。
- 中期目標「経費の抑制に関する目標」について、経費節減に向け、平成17年度から20年度までの4年間に、保留分(2%)を超えて節減ができた場合には、翌年度にその全額または一部を追加配分する取組を実施し、目的意識を持った経費削減の取組と併せて、配付予算による各大学・部局ごとの教育研究の質の向上に資する備品・設備等の整備が図られた。このことは、コスト管理へのインセンティブを与える優れた取組であると判断される。
- 中期計画「建物・設備の計画的改修」については、平成18年度に中長期的・総合的施設整備計画「施設整備マスタープラン2006」を策定し、平成19年度からこのマスタープランに基づいて、計画的な整備を進めている点は優れていると判断される。
- 中期計画「効果的な資金運用・資金管理」について、「資金管理計画」を策定し、これに基づき、地方債や政府保証債などによる適正な資金運用を行っている。平成19年度以降、連続して高い運用利益を上げたことは優れていると判断される。

### (特色ある点)

- 中期計画「寄附金の獲得」に関連して、卒業生等からの寄附金募集のための仕組みを構築するために、卒業生の住所の把握、事務体制の整備等の準備を行い、さらに一般寄附金を募集するための規程や、寄附金を給付型の奨学金の原資にするための規程を整備した。これらの取組は、特色あるものと判断される。
- 中期計画「剰余金の有効活用」に関連して、大学の使命実現のために行う法人独自の取組みに活用できるように仕組みを整備し、これによって、国際化推進ファンドの創設、教育研究高度化推進のための取組、プロジェクト型任用ファンドの拡充、運用益相当額に寄附金を加えた自主財源による博士後期課程の経済支援制度の創設等を行った点は特色ある取組であると判断される。

### (その他)

- 中期計画「寄附金の獲得」に関連して、重要なのは、愛校心の基礎となる大学への帰属感であり、その前提となる充実した教育とキャンパスライフの実現に向け、教学と経営の一体的な努力を期待する。
- 中期計画「授業料等学生納付金の適切な料額決定及び確保」については、成績優秀者への奨学としての授業料免除だけでなく、経済的條件が悪化している学生の必要に見合った支援策の総合的な運用を期待する。
- 中期計画「オープンユニバーシティの事業収支に関する目標」について、今後ともニーズの的確な把握に努めながら、採算性を考慮に入れた自立運営を維持し、オープンユニバーシティをはじめとした各種の継続教育関連の事業を全学的・総合的に捉える部署を置き、コスト計算や整理統合を行なうような仕組みの検討に期待する。

## IX 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

(優れた点)

- 中期計画「第三者評価の実施」について、法科大学院が平成20年度に大学評価・授与機構による認証評価(専門大学院評価)を、また首都大学東京が22年度に(大学機関別認証評価及び選択的評価)を、同じく産業技術大学院大学情報アーキテクチャ専攻が日本技術者教育認定機構による(分野別認証評価)を受審し、各機構が定める評価基準にそれぞれ適合しているとの評価を受けたことは、優れていると判断される。

## X その他業務運営に関する重要目標

### 1 社会貢献の推進に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 2 広報活動の積極的展開に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 3 情報公開等の推進に関する目標

評定 3 中期目標の達成状況がやや不十分である。

### 4 施設設備の整備・活用等に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 5 安全管理に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。

### 6 社会的責任に関する目標

評定 2 中期目標の達成状況がおおむね良好である。



## 【特記事項】優れた点、特色ある点、改善を要する点など

### (優れた点)

- 中期計画「産学公連携に関する取組み」について、法人全体として産学公連携の成果を挙げており、技術相談件数、受託・共同研究等が着実に増加するとともに、平成17年度以来、特許等の出願件数が増加し、目標を達成したことは優れていると判断される。
- 中期計画「都政との連携の推進に関する取組み」について、平成17年度の9局18件から平成22年度には15局46件と大幅に拡大している。また平成20年度には東京都各局との総合窓口として「都市科学連携機構」を創設し、さらに産業技術研究センターとの連携を深めるなど、重点課題の設定及び法人の使命・目的に則した連携の体制がさらに強化されたことは優れていると判断される。
- 中期計画「全学的な安全衛生管理体制の整備」について、法人化に伴う労働安全衛生法の適用などを受けて、全学的な安全衛生管理体制の整備を進めるなど、法人に相応しい自律的な安全管理の整備を進めており、優れていると判断される。
- 中期計画「災害時に対する危機管理体制の整備」について、地域との連携体制の構築も含め、総合的な体制を整備していることは優れていると判断される。

### (改善を要する点)

- 中期計画「広報戦略の策定」について、平成17年度に「広報活動実施案」を作成し、以降毎年この方針に従って、教職員が一体となって広報活動に取り組んでいるものの、一般市民に対する広報は十分とはいえない。都民にとっての価値をアピールし、応援してくれる人を増やすことが、寄附金の獲得など今後法人経営上重要になってくると思われる。一層の広報活動の充実が望まれる。
- 中期計画「個人情報の保護に関する取組み」について、平成19年度から22年度に相次いで、3件のパソコンあるいはUSBメモリの取扱に関する事故が発生している。19年度の事故を契機に個人情報保護の取組が強化されてきたにもかかわらず、類似の事故の再発を防止できなかったことは極めて遺憾である。策定されている再発防止策の一層の周知徹底に止まらず、実効性のある具体的な対策を講じるとともに、業務の執行システムの見直し、教職員の意識改革に真剣に取り組むことが望まれる。

### (その他)

- 中期計画「既存施設の適正かつ有効な活用」について、適切に実施されているが、学内のそれぞれの施設設備についての活用状況のさらなる把握・分析に努め、資産の貸付けによる有効利用を図るなど、総合的な資産の有効活用の検討がなされることを期待する。
- 中期計画「全学的な安全衛生管理体制の整備」について、新型インフルエンザなどの感染症対策や、その他社会情勢に即したさらなる取組を期待する。